

荷崩れ

- 物損事故報告 (第一報) △01
- ヒヤリ事故報告
- クレーム報告

部長	安全部長	チーム長	作成
印	印	印	印

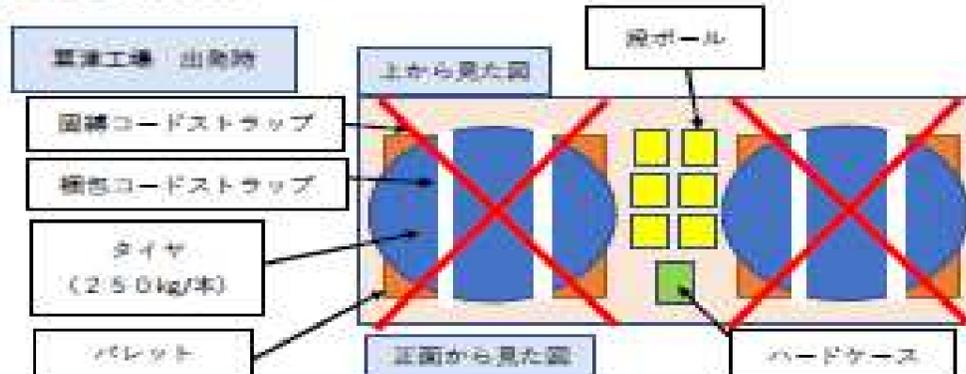
発信日: 2018年 6月 18日

発信事業所: 中部物流部 豊田物流グループ
発信部門: 運輸チーム

JRコンテナ内でGD655タイヤ荷崩れによる同載部品破損

1. 発生日時 2018年 6月18日 (月) 8時31分 頃発発
2. 発生場所 コマツ野津試験場 (大分県日田市)
3. 事故当事者 所属: JR貨物【当社依頼先: OO株式会社(松支店)】
どこの工程で荷崩れが発生したかは特定できない。
4. 事故概要 (5W1Hで記入)
作業名: JR貨物コンテナ輸送中タイヤ荷崩れによる部品破損
作業・安全標準書の有無: □ 有 ■ 無
2018年 6月14日 1000 梱包チーム員がタイヤ6本 (パレット×2)、パトライト・ミラー・フィルター (段ボール×6) を梱包 ※タイヤは3段積みでパレットに対し並列にコードストラップ2本で固定
2018年 6月15日 1600 運輸チーム員が積込のため上記貨物をフォークリフトで引き上げ
1630 OOがフォークリフトにて上記貨物及び計測器 (ハードケース) をコンテナへ積込開始
1650 積込終了後、コンテナと貨物の係縛を実施 ※前後左右振動に耐えられる様に十字で係縛を実施
1650 運輸チーム員が係縛状況をチェック
1655 豊津工場出発
1745 金沢貨物ターミナル到着 トラックからフォークリフトにてコンテナを降卸する
2145 金沢貨物ターミナルでフォークリフトにてコンテナを貨車に積み込み
2335 金沢貨物ターミナル出発
2018年 6月16日 1607 福岡ターミナルに到着し中継貨車へフォークリフトにて積替え
2018年 6月17日 329 福岡ターミナルから西大分ターミナルへ出発
942 西大分ターミナルに到着
1556 西大分ターミナルにてフォークリフトでOOのトラックへコンテナを積込する
2018年 6月18日 706 西大分ターミナル出発
831 野津試験場到着しコンテナ開封した際に内部のタイヤ荷崩れ及びダンボールの破損をOOドライバーと客先担当者が発見した。

5. 状況再現写真 (写真がない場合ポンチ絵でも可)

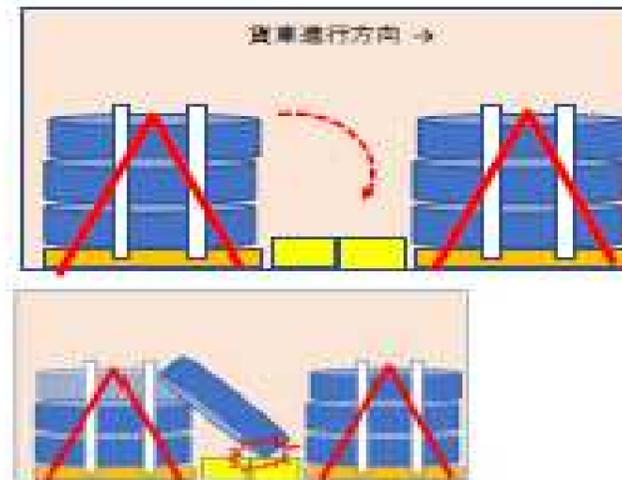


- ※箇のダメージ状況 → タイヤ以外のダメージは豊津工場へ返却して確認する
- ・タイヤ → そのまま使用
 - ・ダンボール6ヶ → 返却して内容物を再検査
 - ・計測器 → 返却して動作チェック

6. 事故の原因 (推定原因)

- ①輸送中の振動によりタイヤをパレットに固定しているラッシングが緩んで外れ、3段目のタイヤがずれ落ちた。貨車進行方向前後のずれ止め係縛が不足。
- ②作業標準書を作成・運用していなかった。
- ③運輸チームの係縛チェック員がタイヤの前後方向への係縛が不十分なことに気が付かなかった。

※トラック走行中の急減速0回 (タコグラフ確認済) で、貨車運行遅延等もない事から、運行自体の問題は無いと判断。



7. 事故への対応

- 2018年 6月18日
- 8:40 OO様OOさんより タイヤが落下して部品が破損している様様と報告が入る
 - 9:50 設計担当者と試験チームへ落下による部品破損してしまったと報告
 - 9:50 設計者と試験チームと相談の元 タイヤ以外の荷物を動作確認と検査が必要の豊津工場へ返却
 - 10:00 OO様OOさんへ 計測器1箱、ダンボール6箱を豊津工場へ戻す様 指示をする 6/21到着予定
 - 10:03 OO様OOさんから事故の写真を入手し
 - 10:10 三機チーム員から伊藤安全担当へ連絡するが不在
 - 11:00 三機チーム員と中津で 岡上部長と吉田主査へ事故報告
 - 11:50 吉田主査より安全物流部 真淵部長へ事故発生を報告

8. 暫定対策

- ・これまで荷崩れ発生していないA種・B種梱包でのタイヤ梱包梱容の、「パレットにタイヤを2段積みとし、ラッシング(コードストラップ)は十字にかける」を徹底する事を、梱包作業関係者全員に周知実施 → (6/19済み)
- ・正式に作業標準書を作成し、梱包チーム・運輸チーム共、同様の作業標準書に基づく作業及び確認を実施する → (6/29迄に作成し運用)

